

口小だより

第 24 号
口之津小
校 長

運動会を終えて

五月二十三日、次のようなコロナ対策を
講じ、運動会を開催しました。

- ・二時間を上限
 - ・健康観察の強化
 - ・身体的距離の確保
 - ・児童席・応援席でのマスク着用
- また、運動会前のPTA役員会では、次のような御意見をいただいていたので、運営や指導に生かしました。

- 昨年度は、時間制限があったせいか、先生方が児童を急がせるような指導が気になった。
 - 途中で給水タイムをとった方がよい。
- 児童には、コンディションを整えて臨んでほしい。

当日は、梅雨とは思えない五月晴れの中、私は、開会式で、次のような話をしました。

校長あいさつ（開会式）

今年の梅雨入りは、例年よりずいぶん早く、まだ五月だというのに、雨また雨。今日の運動会も、開催できるか心配しましたが、お天道様は、本番には、一番よい天気を準備していただきました。松永PTA会長様はじめ、本部役員会、体育委員会、そして、おやじの会の皆様には、運動会の運営にあたり、駐車場誘導や受付など、御協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、児童会で決めてくれた、本日の運動会のスローガンは「協力・元氣・笑顔」です。

校長先生は、今年の口之津小学校のみなさんに、ピッタリのめあてだと感心しています。

まず、協力。応援合戦や表現種目の練習の時、また、会場の準備や片付けの時に、このめあてがよく生かされていました。

次に、元氣。「おはようございます」の朝のあいさつはもとより、「お願いします」「ありがとうございました」といったあいさつも上手になってきました。

そして、笑顔。口之津小学校の子どもの一番よいところは、やさしいところです。そして、それは、みなさんの素敵な笑顔に象徴されていると、校長先生は思います。

六年生のみなさんにとっては、小学校生活最後の運動会になります。コロナのため、二年続きで縮小化した運動会で、校長先生も心苦しいですが、みなさんが、一番力を入れてきた応援合戦をはじめ、全力を尽くしてください。校長先生にとっても、最後の運動会になります。

保護者の皆様には、御心配ばかりおかけしております。

コロナ対策、梅雨対策、そして、今日は、熱中症対策等々くれぐれも留意して、会の運営にあたりますので、どうぞ、温かいまなざしと拍手で、子どもたちの躍動する姿を応援していただければありがたいです。

講評

【応援合戦（全学年）】
わずかに二週間足らずの練習の中で、よくぞ、ここまで高まった。両組の児童及び応援リーダーに拍手を送りたい。

【徒競走（全学年）】
フライングやセパレートコース越えが全く見られず、最後までよく走っていた。一年生の大きな返事に心打たれた。

【玉入れ（低学年）】
松本先生のマイクの指示だけで、上手に動いていた。ルールを守りながら、競技を楽しむ姿に、小学生としての成長を感じた。

【ダンス(低学年)】

あでやかなボンボンを振りながら、踊りがとてもかわいらしかった。中には、応援合戦と混同した児童もいただろう。

【大玉運び(中学年)】

運動会らしい種目で、懐かしさを感じた。四人持ちを二人持ちに変えるだけで、競技の展開がスリリングになる。

【よっちよれ(中学年)】

テンポのよいリズムに、のりのりで踊る姿がかっこよかった。鳴子の歯切れのよい音も雰囲気を高めていた。

【リレー(高学年)】

高学年らしいスピード感と迫力に、低学年の児童が夢中で応援していた。陸上部の児童の上手なバトンパスも光っていた。

【集団行動(高学年)】

号令とか隊形移動とか、ともすれば、今の子どもたちにはとつきにくそうなことを、ニコニコ楽しみながらやるのが、本校の児童のよいところだと、改めて思った。

来年度に向けて

- 二年続けて入場行進を行っていない。来年度はぜひ実施したい。
- コロナ禍に関わらず、運動会の半日日程を望まれる保護者の声を聞いた。

行事予定

※六月の学級部会は、四月の反省を生かし、音楽室と家庭科室で行います。

【学校担任からお願ひする共通議題】

- ① 家庭学習の手引き
- ② 生活アンケート結果
- ③ 学習発表会の時期

六月二一日(月) 授業参観・学級部会

二年・五年

たけのこ・ひまわり

二二日(火) 三年・四年

ひまわり・たんぼぼ

すまいる

二四日(木) 一年・六年

PTA本部役員会

PTA評議員会

七月 八日(木) 学校保健委員会

十二日(月) 学校保健委員会

学校保健委員会

十九日(月) 学期末短縮授業

二十日(火) 地区児童会

二十日(火) 一学期終業式

口之津給食センター供用終了

二七日(火) 八月二日(月) 家庭訪問

八月 九日(月) 登校日(平和集会)

二十日(金) 登校日(プレ給食)

九月 一日(水) 二学期始業式

南島原市給食センター供用開始

校長室から

本年度の校内研修

校長 菅 秀 康

本校では、校内研修を月二回ペースで、水曜日の放課後に行っている。

研究組織は、算数部会と特別支援教育部会の二つ。

算数部会のテーマは、「定着を重視した指導」。授業中のまとめ以降の学習の充実を図る。一斉指導を減らし、個別指導の時間を確保する。

特別支援教育部会のテーマは、「特に応じた支援」。特別支援学級では、児童の特性に応じて、「自立活動」という時間を組むことができる。それを互いに公開し、スキルのレベルアップを図る。

運動会が終わり、一学期も後半に入る。校内研修が本格的に始動する。